

海外語学研修		演習	国際交流委員会	
科目カテゴリー	国際ビジネス学科の教養選択科目	科目ナンバリング	22200133	

1. 授業のねらい・概要

本学では、海外経験の無い学生向けに国際交流プログラムを設置していますが、より本格的に英語を勉強し、英会話を身につけたいという学生のために、ホームステイをしながら語学学校にて、より集中的に英会話を学ぶ研修として本研修を設置しています。インターネットの普及により日本に居ながら世界のあらゆる情報を瞬時に手にできる現代において、英語が話せることは自分の世界を大きく広げることにつながります。したがって、ぜひ学生のうちに自分の能力を伸ばし、社会にはばたく準備をしてもらいたいと思います。

この海外語学研修ではネイティブの教員の下、月曜日から木曜日まで9時-14時30分、金曜日は9時-12時まで授業を受け、日常生活ではホームステイにより必然的に英語を話す環境に身を置くことになります。2週間のこのプログラムによって、コミュニケーションをとる楽しさを実感し、さらに文化の違いを体験し、生きた語学の楽しさを感じるようになるでしょう。研修内容は研修先の国、都市、期間、語学学校、授業時間など変更の可能性あります。

2. 授業の進め方

後期期間中に計3回（海外・渡航事情、英語など）事前授業を実施します。その後2月ないし3月に研修先の都市において2週間、ホームステイをしながら現地の語学学校で、英会話を学習し、帰国後に事後レポートを提出、並びに帰国報告会にて報告してもらいます。また、参加者の希望によっては、本授業の規定である2週間を超えて、1か月等に変更することも可能です。

3. 授業計画

10-11月にかけ募集し、12-1月に3回の事前授業として、英語および研修先都市における事情、地理・観光、産業・経済、歴史、文化、渡航手続き等に関して講義を行います。研修期間は14泊16日とし、研修先にて、ホームステイをしながら月曜日から木曜日まで9時-14時30分、金曜日は9時-12時まで授業を受けます。	帰国後、研修レポートを提出してもらい、帰国報告会にて報告してもらいます。研修先の国、都市、期間、語学学校、授業時間など変更の可能性あります。
--	--

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

パスポート、旅行保険、キャッシュカードなどの取得に関して、期限を設けているため、その期限までに各自しっかりと準備すること。また、渡航先の文化、気候、地理的情報、社会情勢等に関して調べ、質問等をまとめておくこと（2週間程度）。日本国籍以外で研修先の国への入国に際し、ビザが必要な学生は各自で取得すること。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

帰国報告会にて、提出された研修レポートに対するフィードバックを行い、参加者による意見交換等実施する。研修レポートには個人の目標設定と達成状況を示すこと。

6. 授業における学修の到達目標

日常生活において、外国人とコミュニケーションを図ることに躊躇せず、積極的に話しかけられるようになること、英会話スキルを向上させることを目標とします。

7. 成績評価の方法・基準

事前授業での受講態度、研修先における語学授業での受講態度および修了証の取得・提示（70%）、事後の研修レポートの提出（20%）、帰国報告（10%）にて評価し、相当と評価された場合2単位が付与されます。

※ 事前授業への不参加・態度不良、準備の遅れによっては、国際交流委員会の判断で、参加を諦めてもらうことがあります。

8. テキスト・参考文献

研修先にて配布の資料を用います。

9. 受講上の留意事項

参加申し込みは 10-11 月中に行います。費用は、空港ピックアップ費用、授業料、ホームステイ費用（3 食付）、渡航費等がかかります。合計で、60 万円ほどを予定しています（研修内容、為替レートにより変動します）。また、本講座は 2 週間以上を実施期間として規定しています。2 週間以上であれば、学生の要望により 1 か月等の参加も可能です。しかしながら、参加期間に応じて経費も増額となるので注意してください。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当しない。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。